

ニカメイチュウ

コブノメイガ・イネツトムシ

イネドロオイムシ・イネミズゾウムシ

ウンカ類・ツマグロヨコバイ

の省力防除に…

水田害虫の総合防除剤

ST **パダン[®] バッサ[®] 粒剤**

農林水産省登録第21808号
パダン、バッサは登録商標

【有効成分】
カルタップ………3.5%
BPMC ……………4.0%



1. 稲の主要害虫の 総合防除が可能

ニカメイチュウ・イネツトムシ・コブノメイガなどに
対する散布適期幅が広いので、
ツマグロヨコバイ・ウンカ類の防除時期を
中心に散布ができます。

2. 食害性害虫に 高い防除効果

イネドロオイムシ・イネミズゾウムシ・
ニカメイチュウ・イネツトムシ・コブノメイガなど、
食害性害虫にも安定した防除効果を
発揮します。

3. 抵抗性 害虫にも有効

有機リン剤などの他剤では
効きにくくなってきた害虫にも優れた
効果を発揮します。

4. スクミリンゴガイの 食害防止効果

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の
食害を防止する効果があります。

STパダン[®]バッサ[®]粒剤

パダンバッサ粒剤は、イネドロオイムシ・イネミズゾウムシなどの初期害虫およびニカメイチュウ・イネツトムシ・コブノメイガなどの食害性害虫に防除効果の高いパダンと、ヒメトビウンカ・セジロウンカ・トビイロウンカ、ツマグロヨコバイ防除に優れた効果を示すバッサを混合した水稻害虫の総合防除剤です。スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の食害防止効果も示します。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	10a当たり 使用量(kg)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カルタップを 含む農薬の 総使用回数	BPMCを 含む農薬の 総使用回数
稲	イネドロオイムシ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネツトムシ	3～4	収穫 30日前 まで	5回以内	手、又は 散粒機で 田面に均 一に散粒 する。	6回以内 （種もみ浸漬は1 回以内、床土へ の混和、育苗箱 への処理及び側 条施用は合計1 回以内。 本田での散布は 6回以内。）	5回以内
	コブノメイガ サンカメイチュウ イネミズゾウムシ スクミリンゴガイ （食害防止）	4					

パダンバッサ粒剤の上手な使い方

ニカメイチュウ

パダンバッサ粒剤の散布適期は

第1世代…発蛾最盛期の5～15日後頃。
第2世代…発蛾最盛期の直後～10日後頃。

- ①稲体への浸透性に富んでいるので、食入後のニカメイチュウの幼虫に対して優れた殺虫効果を示します。
- ②幼虫の食入を防止する作用を示します。
- ③ダラダラ発生の防除適期をつかみにくい場合や、他剤で散布適期をのがした場合にも安定した防除効果が得られます。
- ④特異的な殺虫作用により、他剤では効きにくくなった害虫に優れた防除効果を発揮します。

コブノメイガ

パダンバッサ粒剤の散布適期は

発蛾最盛期頃。

ひたひた水程度の湛水条件でもコブノメイガやイネツトムシなどの食害性害虫に高い防除効果を発揮します。

イネツトムシ

第2世代幼虫発生初期の7月下旬～8月上旬が防除の適期です。老齢虫にも高い効果がありますが、できるだけ早目に防除してください。

イネミズゾウムシ

越冬成虫の飛込最盛期（田植後10～20日頃）が散布適期です。特に幼虫に対して優れた効果を発揮します。

ウンカ類・ツマグロヨコバイ

早期発見に努めてください。発生初期の防除ほど高い効果が得られます。



安全使用上の注意



- DCPA剤との同時施用及び近接散布はさけてください。（薬害）
- 散布に当たっては、田水深を3cm以上にし、散布後少なくとも4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 桑葉・蚕室・蚕具に絶対にかからないようにしてください。汚染桑は給桑しないでください。本剤散布作業衣での養蚕作業はしないでください。（蚕毒）
- 作業時は農薬用マスク・手袋・長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は顔や手足など露出部を石けんで洗い、うがいをしてください。
- 医薬用外劇物。取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、至急医師の手当てを受けさせてください。

ださい。使用中に身体に異常を感じた場合は直ちに医師の手当てを受けてください。

- 眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 皮ふに対して弱い刺激性があるので、皮ふに付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 水産動物に比較強い影響を及ぼすので、養魚田および養殖池等に本剤が飛散・流入する恐れのある場所では使用しないでください。ドジョウには特に注意してください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

この印刷物は2007年7月現在の登録内容に基づいて記載しております。

2007年7月作成(コトブキ)010

農薬適正使用運動

1. 使用前にラベルや説明書をよく読んでください。
2. マスク・手袋などの防護具を着用してください。
3. 圃場の外に飛散・流出しないよう使用してください。
4. 空容器は正しく処分してください。
5. 食品と区別し、カギをかけて保管してください。

農 薬 工 業 会



サンケイ化学株式会社

本 社 〒891-0122 鹿児島市南栄2-9 ☎099(268)7588
宮崎事務所 〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19 (山本ビル) ☎0985(25)7051